

**建設産経常任委員会**

**愛知県高浜市「5月25日」**

**▼企業誘致**

高浜市は市街化率が70%を超える工業都市だが、地場産業である瓦産業の衰退と優良企業の流出に伴い、財源確保が命題である。財政基盤を強化し、安定した財源と雇用確保のために新たな奨励制度等を設け、企業誘致・企業支援に積極的に取り組んでいる。

岩沼市でも東日本大震災後の新たな産業基盤を構築し、財源確保と雇用確保、地場産業の支援策を検討すべきと考える。



東郷町で調査する委員

**愛知県東郷町「5月26日」**

**▼低炭素まちづくり計画**

東郷町は二つの村が合併した町の中心部の求心性が弱いことが課題となってい

た。財政の効率化・重点化に高齢者等の生活、子育て環境の整備、地球環境等を考慮した持続可能なまちづくりが求められたことから、日常生活に必要な機能を集約した「コンパクトなまちづくり」を打ち出して実践している。

岩沼市でも少子高齢化時代に沿った環境整備が求められる。「環境にやさしいまちづくり」を未来構想に位置付け持続可能なまちづくりを構築すべきと考える。

**愛知県豊田市「5月27日」**

**▼農業振興**

豊田市は「クルマのまち」のイメージだが、大部分が山間地である。そのために都市部と農山村部の交流事業、中山間地の空き家対策事業を行っている。また、農業収益を高めるために6次産業と商品開発、販路開拓、農商工連携をしている。

岩沼市では大区画ほ場整備を行い効率的な農業を目指しているが、安定した農業経営のために高付加価値農産物の開発と販路開拓、後継者である若者が魅力を感じる農業を構築すべきと考える。

# 議会運営委員会の先進議会調査報告

議会運営委員会は、議会の運営等について先進議会の調査を行いました。9月定例会で報告書が提出されましたので、その概要についてお知らせします。

**千葉県松戸市「7月28日」**

**▼会派代表質問等**

松戸市議会での会派代表質問は3月定例会で市長から示される施政方針の内容を中心に行っている。岩沼市議会は、施政方針説明の翌日午前10時が質問提出締め切りである。これでは施政方針に対する質問を十分にできない。施政方針の概要だけでも前週に示されるようにすべきである。

また、会派代表質問と無党派議員の一般質問の時間配分については、明確に差別化（割り振り時間、10人会派160分、5人会派110分、個人30分）されている。岩沼市議会でも、今後、時間配分等を含め、会派代表質問の在り方を検討すべきであると考える。



松戸市議会で調査する委員

**千葉県佐倉市「7月29日」**

**▼議会基本条例及び政治倫理条例等**

佐倉市で、議会基本条例及び政治倫理条例を制定するに至った経緯は、特定議員の入札妨害に起因している。その後「議会基本条例」及び「政治倫理条例」を制定した。具体的には議員が執行部に対して不適切な働き掛けを行った場合の「働き掛け記録」の提出を市長に求めることができる。制定後は、議員に対する抑止力となり、政治倫理条例を遵守していると説明があった。議員の心構えを条例として定めたものであることが確認できた。

また、「セクシャルハラメント、その他の人権侵害のおそれのある行為をしないこと」等は、条例を再検討する場合には参考になると考える。

議会懇談会について、一定の公的な機関の代表者などとのテーマを決めた意見交換は効果的である。なお、開催については、基本条例に掲げる理念に基づき、議会内の意見集約を図った上で判断すべきである。